

"安全第一": 火災安全基準を5倍上回る SLS方式3Dプリント材質「イグリデュールI3」

イグス株式会社は、難燃性3Dプリント材質「イグリデュールI3」を使って成形した自動車用部品を燃焼性試験FMVSS 302にかけた結果、基準値を大幅にクリアして合格したことを発表いたします。試験で計測された発熱量は、最大許容値を約5倍下回っていました。

自動車内装に難燃性材質を使用することは、万が一火災が発生した際に、着火を抑制することができ、さらに燃焼速度が遅ければ、高速走行中でも停車して無事に車から出る時間を確保することができます。

この度燃焼性試験FMVSS 302に合格した「イグリデュールI3」は粉末焼結積層造形法（SLS）によるポリマー材質でイグス本社が独自に開発したものになります。

国際的な試験でのイグリデュール I3

米国連邦自動車安全基準(FMVSS) 302は、車やトラック等の運転席に使用される材質の耐火性要求事項を満たしているかどうか確認するものです。試験方法: 平均2.02mm厚の被験片(プレート)を水平に保持し、ブンゼンバーナーで38mmの火炎高さで吹き付けます。その後、火炎の燃焼速度を判定します。最大許容値は毎分4インチまたは毎分102mm。試験されたイグリデュールI3は、平均で僅か毎分18.8mmと基準を5倍以上も満たしています。



ニュースリリース

2018年8月27日

耐摩耗性で、しかもすぐに使用可能

「イグリデュール I3」材質は SLS 方式の圧力により、非常に優れた強度があります。レーザー焼結法で仕上げられたパーツの後加工はほとんど不要で、そのままプロトタイプやバッチ製造に使用可能です。この方式では、可動部向けの非常に複雑な形状や高精度の部品が実現できます。

それを実証するため、イグスの社内試験施設において、3D プリント材質製のすべり軸受が粉末焼結積層造形法用の汎用的な材質と比較されました。イグス製品は、旋回、回転、直線運動において、比較品に対して少なくとも 3 倍優れた耐摩耗性を発揮しました。3D プリントパーツは短納期で提供可能なため、もうスペアパーツの在庫やツールを保管する必要はありません。例えばトラバントのように市場で手に入らなくなった車両用パーツも作成できます。自身で 3D プリンターを持っていない場合には、CAD モデルをご用意いただくだけで、イグスの 3D プリントサービスをご利用いただけます。

以上

イグス株式会社

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル 15 階

Tel: 03 (5819) 2030 (代表)

<https://www.igus.co.jp>

<製品についてのお問い合わせ>

Tel: 03 (5819) 2500

Fax: 03 (5819) 2055

E-mail: helpdesk@igus.co.jp

<プレスリリースについてのお問い合わせ>

Tel: 03 (5819) 2057

Fax: 03 (5819) 2055

E-mail: charada@igus.co.jp

次の用語、"igus", "CFRIP", "chainflex", "conprotect", "CTD", "dryspin", "dry-tech", "easy chain", "e-chain", "e-chain system", "e-skin", "flizz", "ibow", "manus", "pikchain", "readychain", "readycable", "savfe", "speedigus", "triflex", "drylin", "iglidur", "igubal", "roboLink", "xiros"は、igus® GmbH の登録商標でありドイツ連邦共和国とその他の国によって法的に保護されています。